

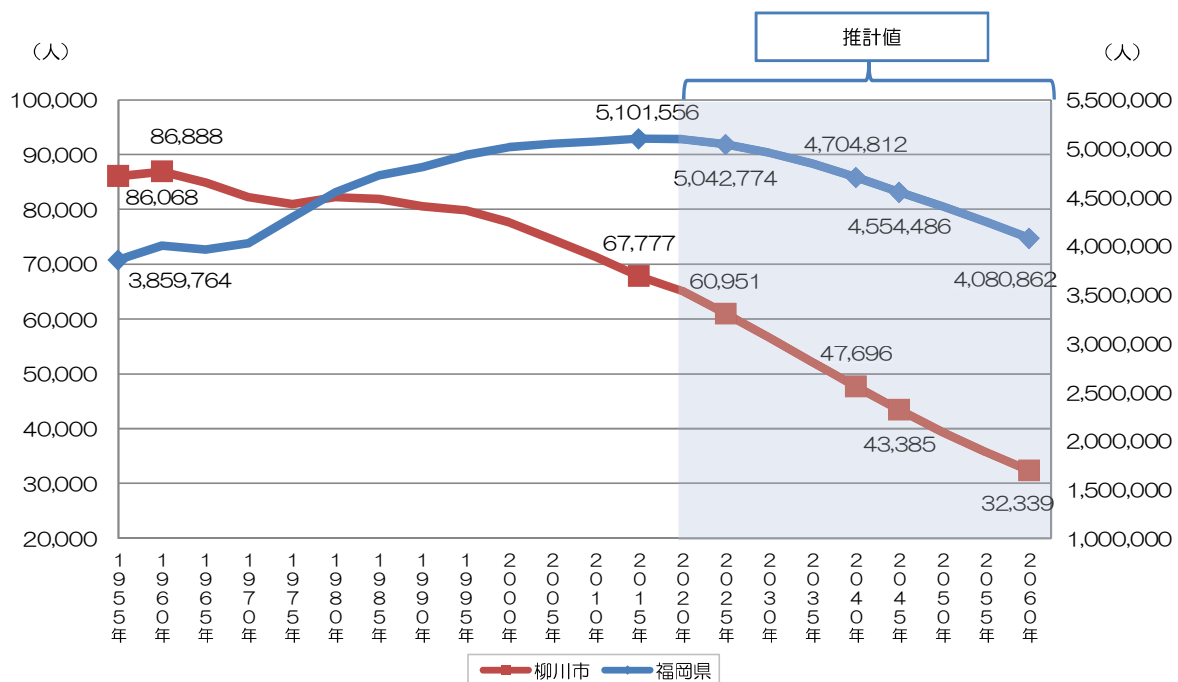
I 柳川市の人口構造

1 柳川市の人口構造

(1) 総人口の推移と将来推計

柳川市の人口は、2015 年に行われた国勢調査では 67,777 人でした。
 今後も減少傾向は続き、2040 年には 47,696 人、2060 年には 32,339 人まで減少すると予測されます。
 関連指標について、筑後地域の他市と比較すると、概ね中位に位置しています。

総人口の推移



※2015 年までは「総務省：国勢調査」、2020 年以降は「柳川市独自推計」「社人研推計」より作成

総人口に関する指標（他市等との比較）

	柳川市		八女市	筑後市	大川市	みやま市	大牟田市	久留米市	福岡県	国
	偏差値	数値								
人口増減率（％）	47.5	-5.0	-6.7	-0.4	-7.0	-6.4	-5.1	0.7	0.6	-0.8
人口定着率（％）	48.1	65.7	55.0	88.6	64.9	53.0	63.3	86.7	96.8	97.9
将来推計人口増減率（％）	47.0	-29.6	-34.2	-9.0	-37.7	-35.8	-30.0	-5.7	-7.8	-12.7

※「総務省：国勢調査」「柳川市独自推計」「社人研推計」より作成。偏差値は、筑後地域の 7 市の数値により算出。比率や数値が低いことが望ましいと考えられる項目については、比率や数値が低いほど偏差値が高くなるよう設定している（以下、同様）。人口増減率は、2010 年と比較した 2015 年の人口増減割合、人口定着率は、2000 年の 10～14 歳人口に対する 2015 年の 25～29 歳人口の割合、将来推計人口増減率は 2015 年と比較した 2040 年の人口増減割合をそれぞれ示す

(2) 年齢3区分人口の推移と将来推計

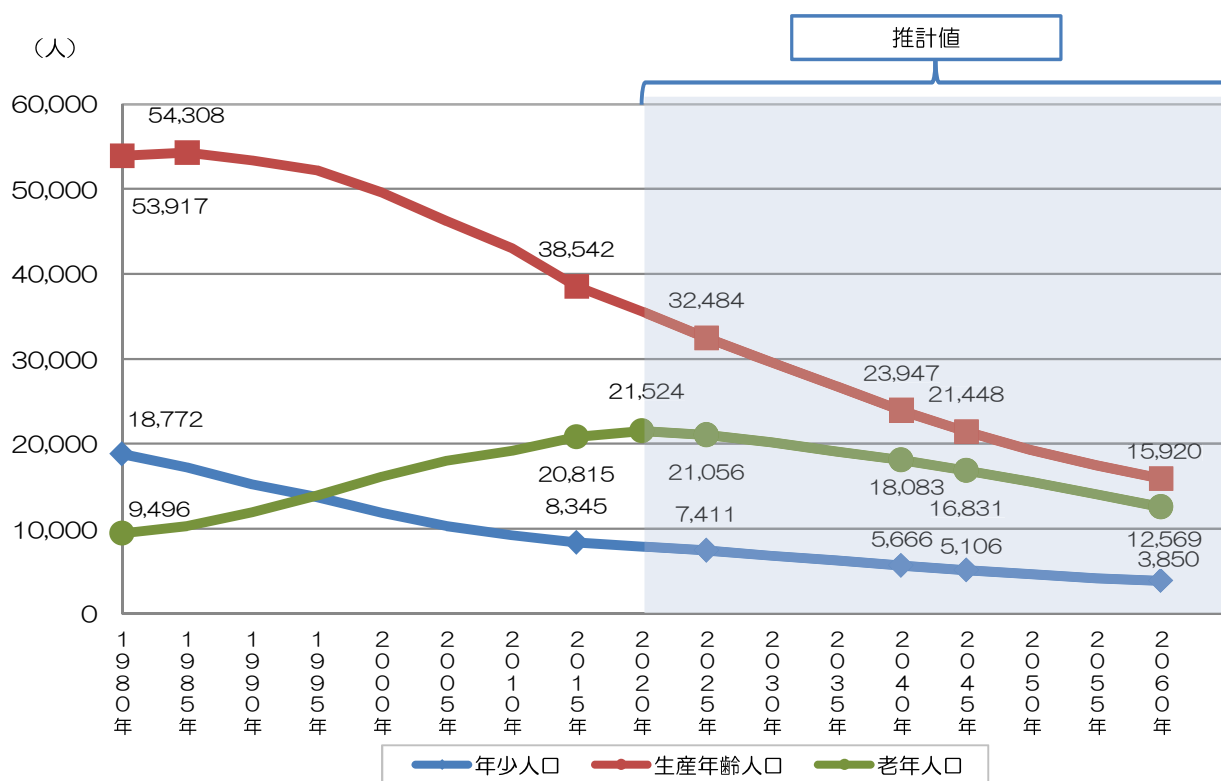
柳川市の人口を「年少人口（0～14 歳）」、「生産年齢人口（15～64 歳）」、「老年人口（65 歳以上）」の3 区分に分け、その推移をみると、老年人口が増加する一方、年少人口および生産年齢人口は減少しています。

今後は、老年人口も 2020 年をピークに減少に転じ、すべての年齢層で減少が進むことが予測されます。

年齢3 区分別人口割合をみると、2045 年に生産年齢人口の割合が 50%を切ると予測されます。

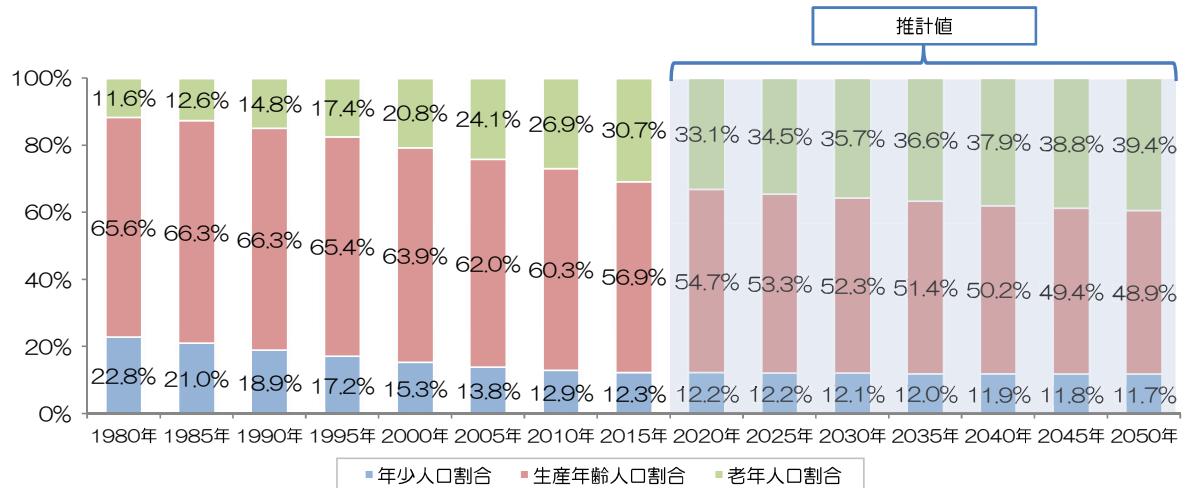
関連指標について、筑後地域の他市と比較すると、概ね中位に位置していますが、25～39 歳の未婚率が男女ともに高くなっています。

年齢3 区分人口の推移



※2015 年までは「総務省：国勢調査」、2020 年以降は「柳川市独自推計」より作成。2015 年までの総人口には年齢不詳を含んでいるため、年齢3 区分人口の合計は必ずしも総人口と一致しない

年齢3区分人口割合の推移



※2015年までは「総務省：国勢調査」、2020年以降は「柳川市独自推計」より作成

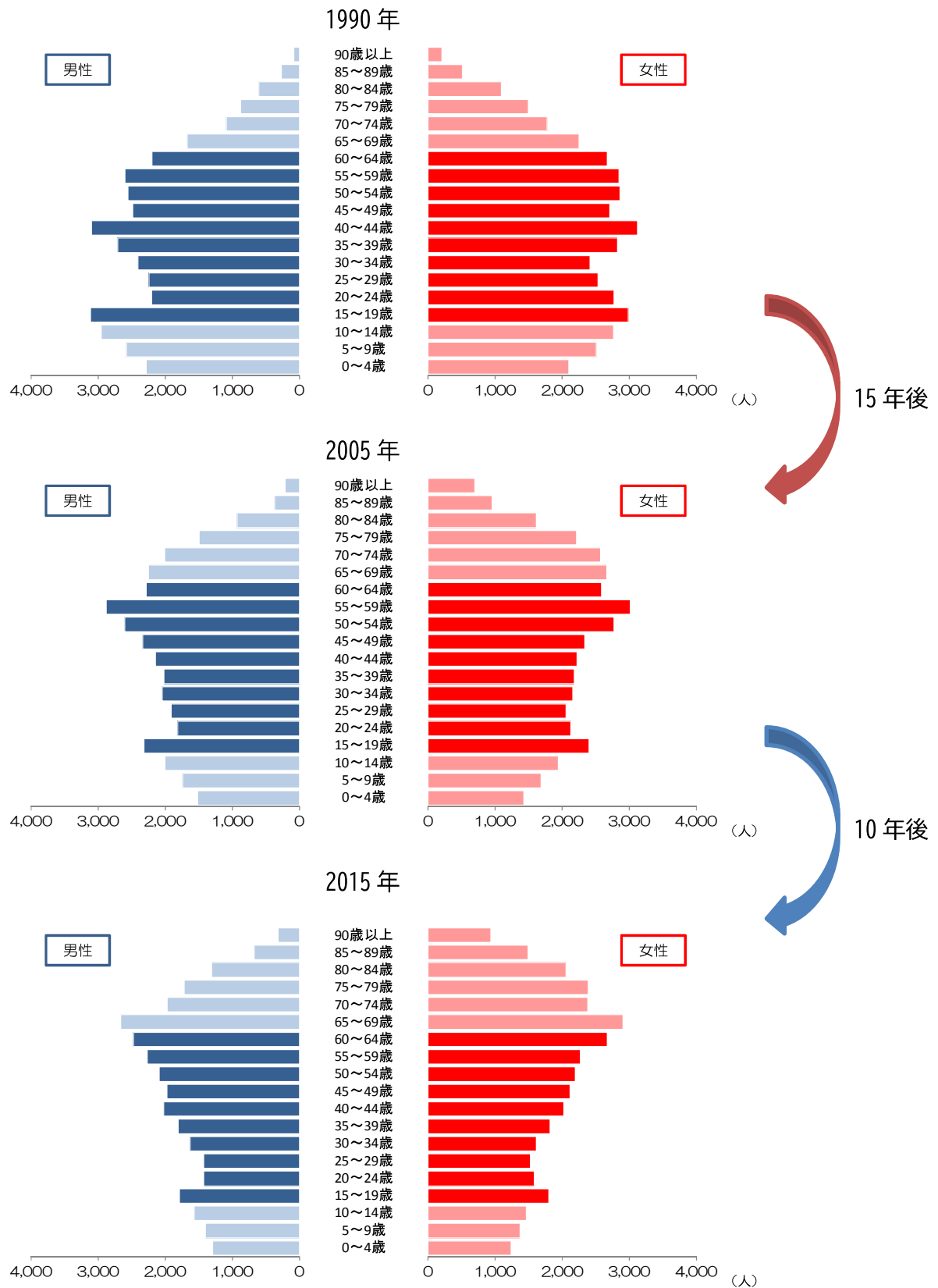
年齢3区分人口に関する指標（他市等との比較）

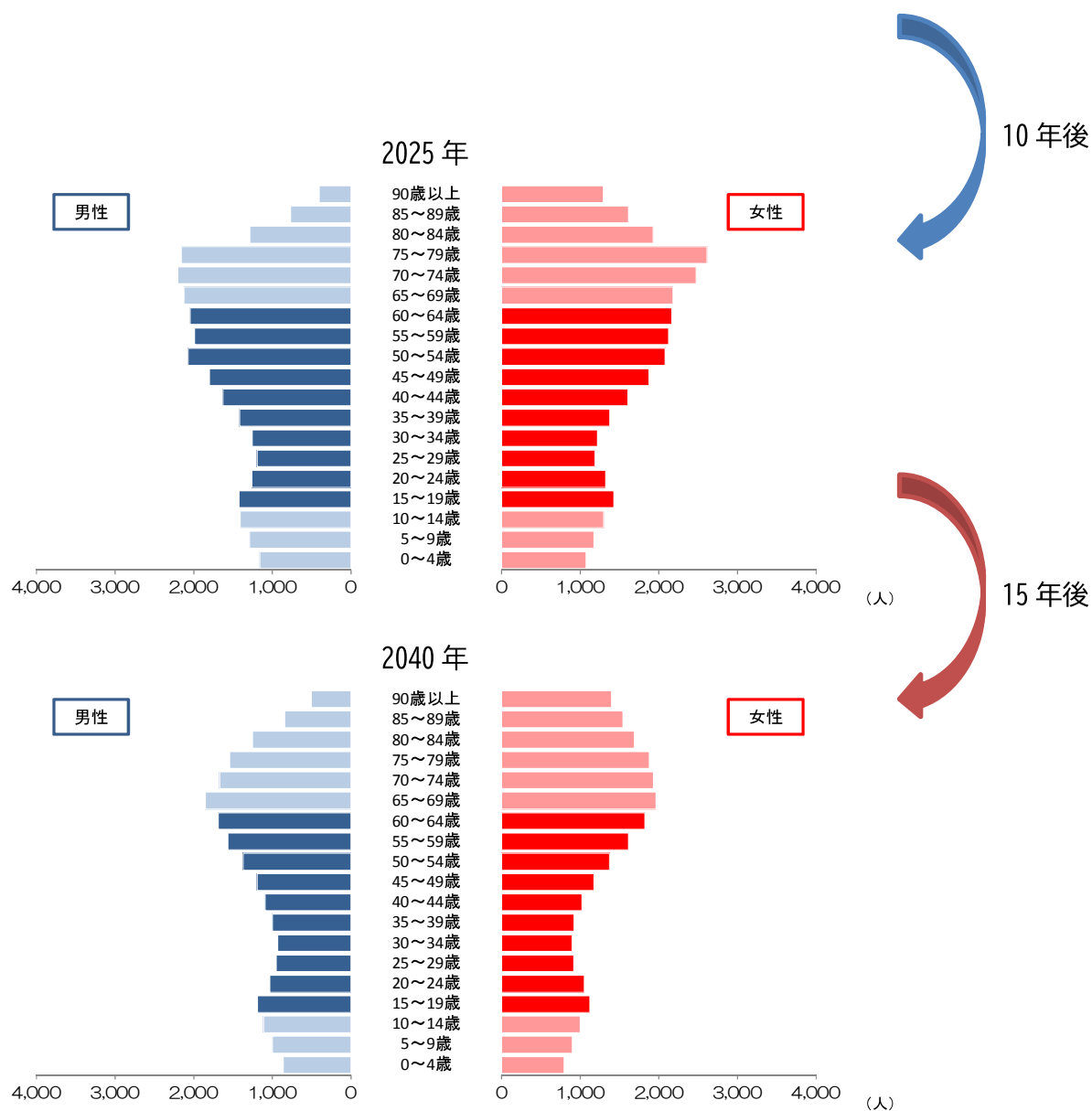
	柳川市		八女市	筑後市	大川市	みやま市	大牟田市	久留米市	福岡県	国
	偏差値	数値								
年少人口割合 (%)	50.3 (56.0)	12.3 (11.9)	11.8 (9.9)	14.8 (13.9)	10.6 (8.4)	11.4 (9.6)	11.0 (9.4)	13.9 (12.5)	13.4 (11.9)	12.6 (10.8)
老年人口割合 (%)	51.4 (55.3)	30.7 (37.9)	33.4 (45.8)	25.8 (31.8)	33.0 (46.4)	34.8 (46.4)	35.1 (44.1)	25.7 (34.2)	25.9 (33.7)	26.6 (35.3)
年齢中位数 (歳)	51.1	51.1	54.1	46.0	52.7	55.8	55.0	46.0	46.0	46.7
男性 25～39 歳の未婚率 (%)	45.1	52.3	51.3	44.3	54.6	53.8	51.5	46.0	47.0	49.9
女性 25～39 歳の未婚率 (%)	48.5	40.6	38.2	34.0	45.6	42.8	40.8	38.5	40.1	38.2
一般世帯に占める 65 歳以上の単身世帯の割合 (%)	54.5	10.8	12.4	9.3	10.6	12.2	17.9	10.6	11.8	11.1

※「総務省：2015 年国勢調査」「柳川市独自推計」「社人研推計」より作成。年少人口割合・老年人口割合の（）内は 2040 年の数値を示す。年齢中位数は、人口を年齢順に並べたとき、その中央で人口を 2 等分する境界点にある年齢を示す

(3) 人口ピラミッド

柳川市の人口ピラミッドは、つりがね型からつぼ型に変化していくことが予測されます。





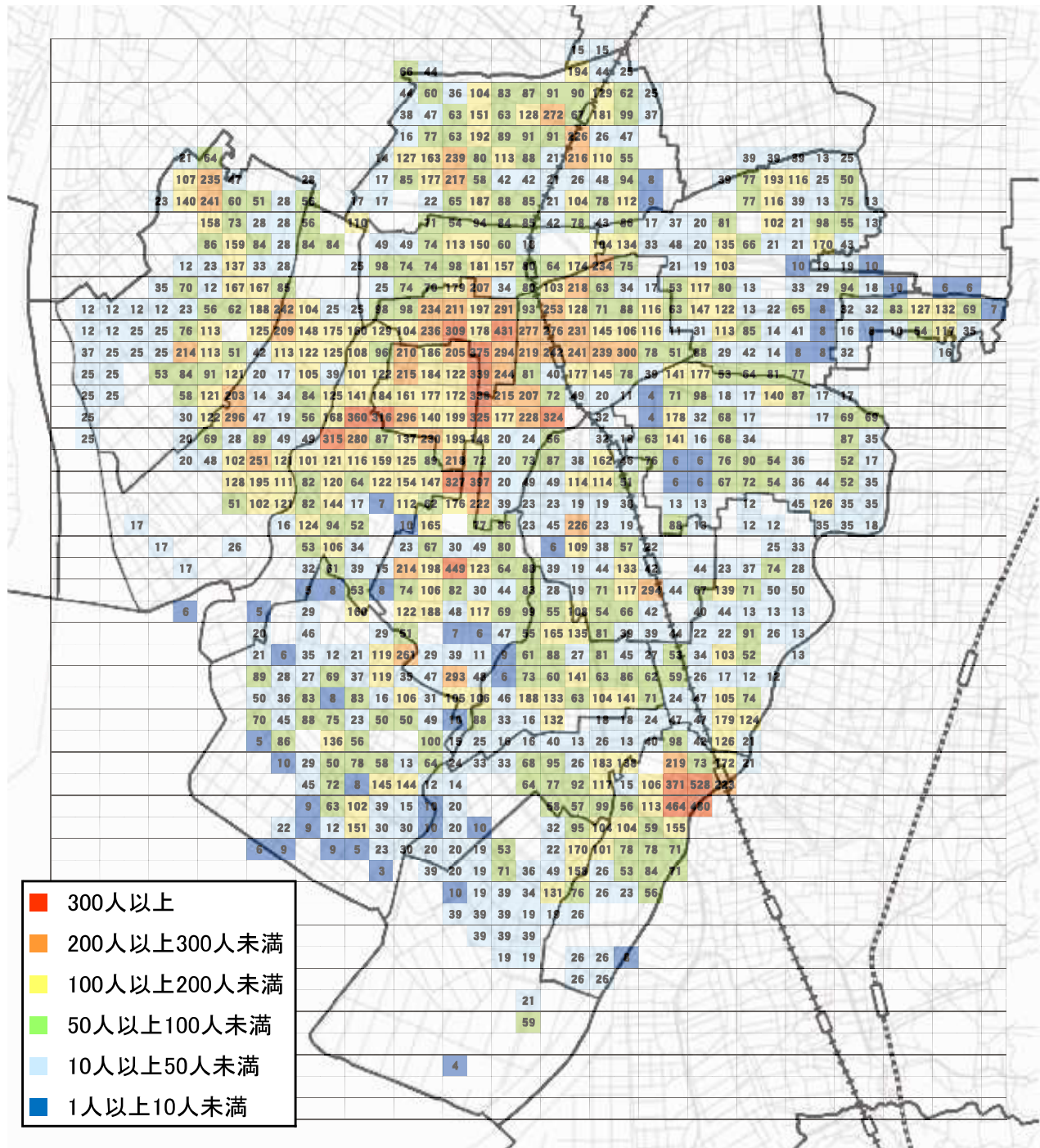
※2015 年までは「総務省：国勢調査」、2025 年以降は「柳川市独自推計」より作成

(4) 人口メッシュ分析

柳川市全域を 250mメッシュで区分し、区分毎の人口をみると、各図のようになります。

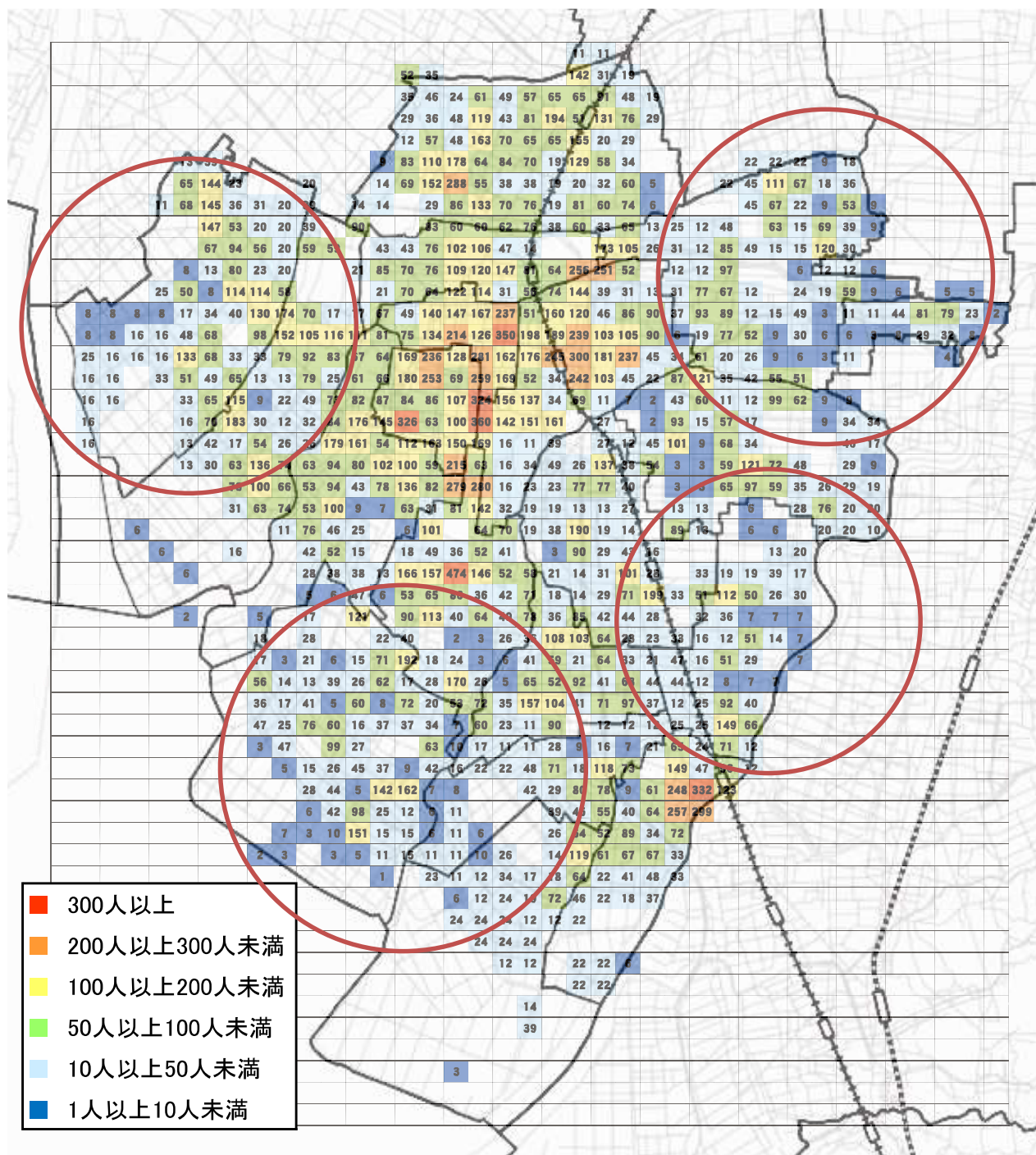
2017 年から 2040 年の変化をみると、特に丸で囲んだ4つのエリアにおいて、人口減少が進むと予測されます。

柳川市の 250mメッシュ人口（2017 年）



※「柳川市：住民基本台帳人口」より作成。各メッシュ人口は概算値

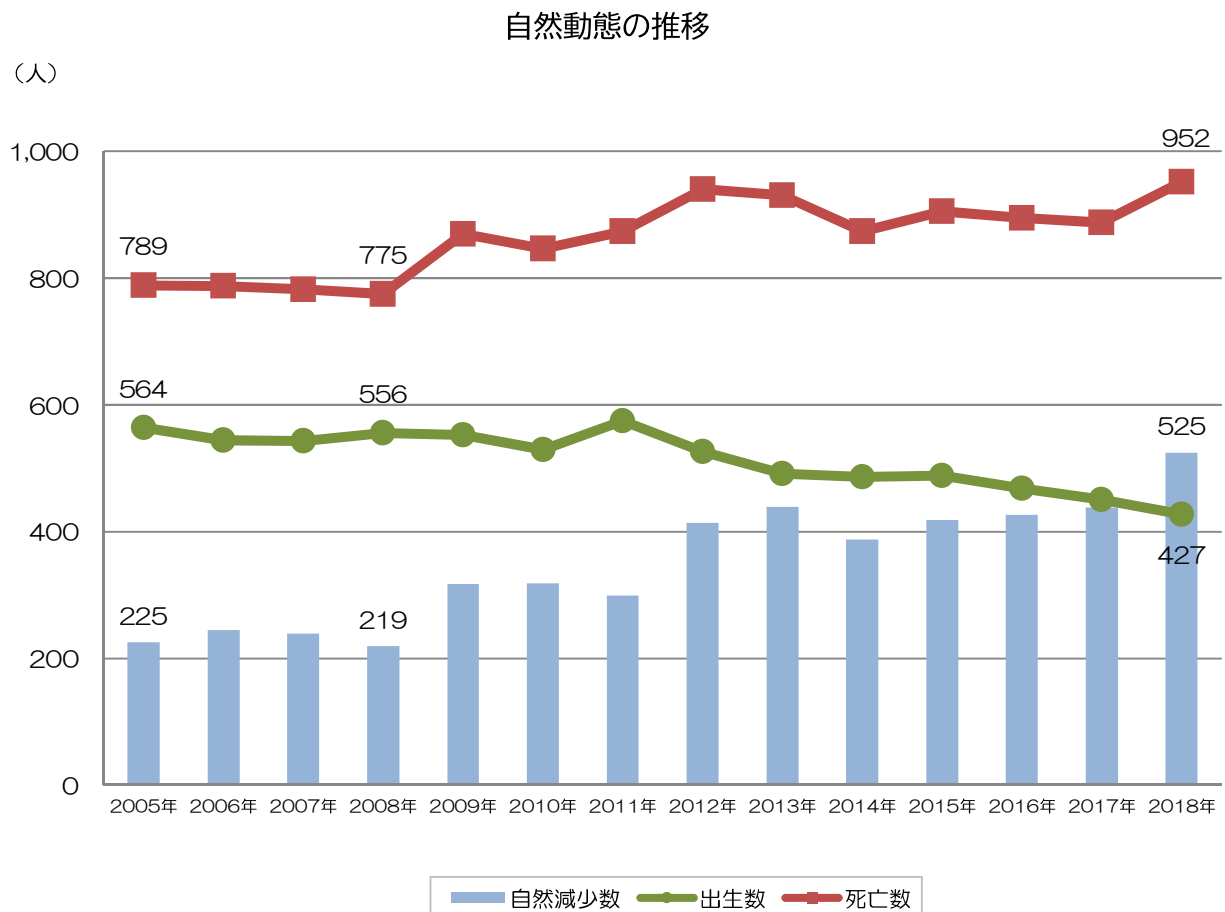
柳川市の250mメッシュ人口（2040年）



※「柳川市独自推計」より作成。各メッシュ人口は概算値

(5) 自然動態（出生・死亡）の推移

柳川市は、出生数が死亡数を常に下回る「自然減」の状態にあります。
出生数と死亡数の差は年々拡大しており、2018年の自然減少数は525人に達しています。



※「福岡県：人口移動調査」より作成

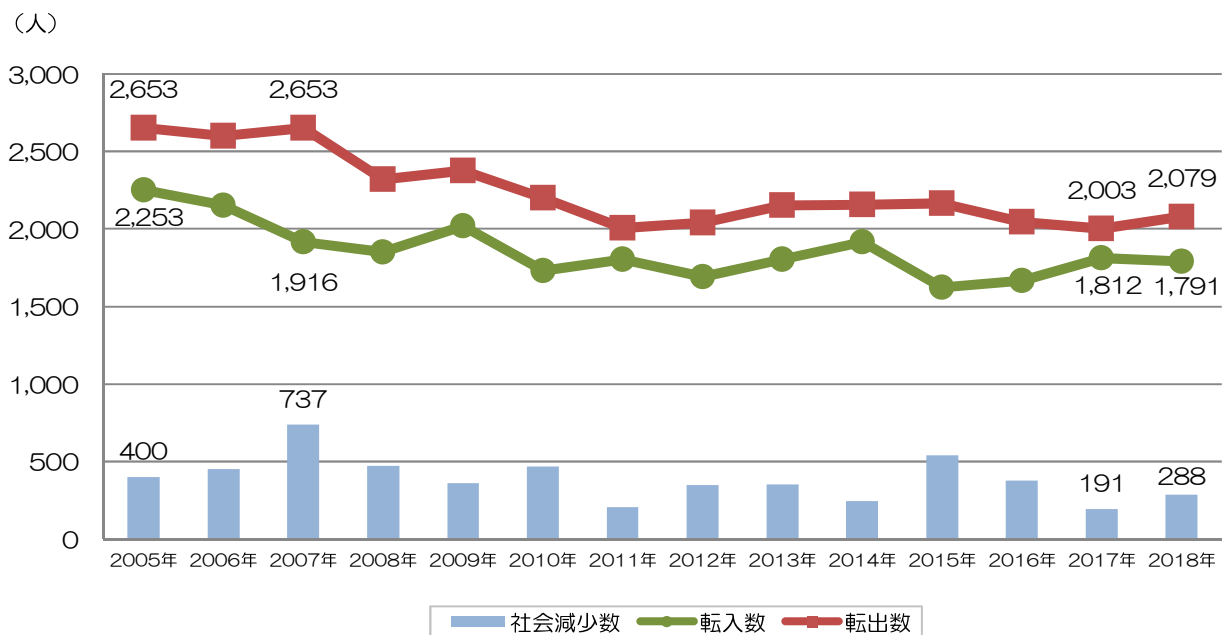
(6) 社会動態（転入・転出）の推移

柳川市は、転入数が転出数を常に下回る「社会減」の状態にあります。

転入数、転出数ともに減少傾向にあり、各年の社会減少数にはバラツキがあるものの、直近 10 年間の平均は約 340 人です。

内訳をみると、阿蘇市、みやま市、粕屋町等から人口流入がある一方、福岡市、久留米市等の都市部への人口流出が大きく、社会減につながっています。

社会動態の推移



※「福岡県：人口移動調査」より作成

柳川市と全国市町村間における人口移動（2012～2017 年度）

	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
転入超過数	阿蘇市	129	みやま市 粕屋町	30			大牟田市	29	長崎市	20
転出超過数	福岡市	639	久留米市	370	筑後市	117	北九州市	113	佐賀市	59

柳川市と筑後地域他市間における人口移動（2012～2017 年度）

	計	八女市	筑後市	大川市	みやま市	大牟田市	久留米市
転入者数	3,750	209	438	810	643	658	992
転出者数	4,176	193	555	824	613	629	1,362
社会移動数 (転入－転出)	-426	16	-117	-14	30	29	-370

※住民基本台帳データより作成